

2021年度 第2回学校評価

校長 平井 正朗

3学期に実施した第2回学校評価の結果を公表します。回答数は、在籍354名中、生徒278名(78.5%)・保護者188名(53.1%)でした。以下の数値は、生徒・保護者ともに未回答を除いたものであり、設問に対して「わからない・無回答」を除いて「(やや)あてはまる(=達成率)」と答えた割合を示します。質問内容については別紙をご参照ください。なお、①～④⑩の質問番号を示します。

I. 集計結果

高評価:90%以上、要精査:60～69%、要改善:60%未満、()内は第1回の数値です

■ 生徒

・90%以上→12項目(6)、80～89%→12項目(14)、70～79%→3項目(3)
60～69%→1項目(1)、60%未満→1項目(1)

【高評価】②愛校心 ④教育計画 ⑤教育活動の公開 ⑨外部講師の活用
⑱パンデミック対策 ⑲危機管理：個人情報 ⑳基本的な生活習慣
㉕進路指導：意識の向上 ㉖進路指導：情報の活用 ㉘授業：質的向上
㉚授業：個別最適化 ㉜学校行事

【要精査】⑳読書教育 65%(62%)

【要改善】㉞カウンセリング体制 59%(48%)

【70%台】㉑生徒指導：組織的対応 ㉙授業：きめ細やかな指導 ㉛授業：探究活動

【5%以上アップ】⑰危機管理：講習-訓練 ㉒基本的な生活習慣 ㉓人権教育

㉟SDGsと社会貢献 ㉟カウンセリング体制 ㉟クラブ活動 ㉟学校行事

【5%以上ダウン】なし

■ 保護者

・90%以上→12項目(11)、80～89%→13項目(13)、70～79%→4項目(5)
60～69%→0項目(0)、60%未満→1項目(1)

【高評価】②愛校心 ④教育計画 ⑤教育活動の公開 ⑰危機管理：講習-訓練
⑱パンデミック対策 ⑲危機管理：個人情報 ㉑施設管理
㉑生徒指導：学校生活 ㉓生徒指導：面談 ㉖進路指導：情報の活用
㉗進路指導：個別指導 ㉞カウンセリング体制

【要精査】なし

【要改善】⑳読書教育 55%(55%)

【70%台】⑬保護者・卒業生連携 ㉙授業：きめ細やかな指導 ㉛授業：探究活動
㉜SDGsと社会貢献

【5%以上アップ】㉘授業：質的向上 ㉚授業：個別最適化 ㉛授業：探究活動

【5%以上ダウン】⑬保護者・卒業生連携

■ 教職員

・ 90%～→25 項目(19)、80～89%→12 項目(12)、70～79%→1 項目(8)

60～69%→1 項目(0)、50～59%→1 項目(1)、50%未満→なし

【低評価】⑧ 地域交流 50% (34%) ③① 授業：探究活動 68% (77%)

⑩ 教員間連携(相互理解) 77%(78%)

【5%以上アップ】① 建学の精神 ② 愛校心 ⑥ 財務諸表の公開 ⑦ 授業公開

⑧ 地域交流 ⑪ 教員間連携(会議) ⑫ 教職員連携 ⑮ 教員研修：資質向上

⑰ 危機管理：講習・訓練 ⑳ 授業：個別最適化 ㉓ グローバル教育

㉕ 情報モラル ㉘ 生徒会活動

【5%以上ダウン】⑨ 外部講師の活用 ㉔ 進路指導：意識の向上

㉗ 進路指導：個別指導 ㉙ 授業：探究活動

Ⅱ. 課題抽出

生徒・保護者・教職員の結果の差が大きいものとして、「読書教育」と「カウンセリング体制」を挙げることができます。

・ 読書教育

生徒「自分は本をよく読むほうだ(または、以前より読むようになった)」→65%

保護者「子どもは本をよく読むほうだ。(以前よりは読むようになった)」→55%

教職員「図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ビブリオバトルなど、読書を促すための行事やしぐみがある。」→95%

・ カウンセリング体制

生徒「もし友達や担任の先生に相談しにくいような悩みが生じたら、学校のカウンセラーに相談しようと思う。」→59%

保護者「不登校の生徒や心的問題を抱える生徒、あるいはその保護者に対して、カウンセラーの支援体制がある。」→91%

教職員「不登校の生徒や心的問題を抱える生徒に、カウンセラーの支援体制がある。」→95%

Ⅲ. 2022 年度に向けた対策

第 1 回アンケート結果と比較すると、全般的に生徒と教職員については概ね向上し、保護者については横ばいという結果でした。今後、以下のような取り組みを実践し、改善を図ります。

・ 2021 年度より学校評価の実施を年 2 回としました。次年度よりさらなる定着と活用の充実に努め、回答率を向上、妥当性・信頼性・客観性のある取り組みをします。

- ・ **読書教育**：全校体制での「朝読」実施、「ビブリオバトル」の参加、電子図書館の活用、高大連携による読書指導の充実を図ります。
- ・ **カウンセリング体制の向上**：個別最適化学習が可能な「**KOKOROOM**（学習支援室）」を新設します。また、カウンセリングルームを**KOKOROOM**に隣接・リニューアルし、カウンセラーを常駐、環境を整備します。
- ・ **生徒指導の組織的対応**：学習指導要領の改訂に伴い、教務内規を精査、全面改訂します。学年と生徒指導のみならず、様々な担当者が状況に応じて有機的に協働できるマネジメントを強化します。
- ・ **きめ細やかな指導**：教科指導においては、EdTech 教材を活用した個別最適化学習を進めます。また、リフレクションアワー、個別面談においては、定期考査・模試分析会での検討結果を指導に活用すると同時に、保護者との連携を密にし、指導のあり方を“見える化”することで説明責任を果たします。
- ・ **探究活動**：グローバル探究教育推進センター、学年、教科との連携を図り、カリキュラム・マネジメントの下、到達度に応じた探究学習を展開します。また、産官学協同を積極的に推進します。
- ・ **教員間連携**：学習指導要領の改訂、大学入試改革を見据えて、各教科を「人文系教科部門」「理数系教科部門」「芸術・体育系教育部門」にグルーピングし、教科間連携を強化します。
- ・ **保護者・卒業生連携**：育友会、友松会との交流を深めることによって、連携を深めていきます。
- ・ **地域交流**：新設の3センターより地域の方々が参加できるイベント等を開催することによって、交流を深めていきます。

以上

別紙 2021年 第2回学校評価 質問内容

	観点	項目	設問
学校経営	私学の独自性	建学の精神	1 建学の精神と教育ミッションに基づいた、教育目標と方針が、教職員・生徒・保護者によく浸透している。
		愛校心	2 在校生・卒業生は「山手ファミリー」の一員として誇りと自覚を持っている。
	教育課程	学習指導要領	3 教育課程は学習指導要領に沿って作成されている。
		教育計画	4 年間を通じた教育計画（シラバス）に従って、各教科・科目の授業が展開されている。
	開かれた学校	教育活動の公開	5 教育活動について、ホームページ・各種通信・クラッシャー・ロイロノート・ミマモルメ等で、可能な範囲の情報が公開されている。
		財務関係	6 財務諸表等が公開されている。
		授業公開	7 保護者などに対して、授業や行事が公開されている。
		地域交流	8 地域の清掃やイベントへの参加活動を通して、地域住民との交流ができています。
		外部講師の活用	9 外部講師による講演や企業とのコラボ授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。
	連携	教員間連携	10 教員間の相互理解と信頼関係のもとに、教育活動が展開されている。
			11 職員会議をはじめ、学年・分掌・教科の会議は、課題検討と有用な情報交換の場として機能している。
		教職員連携	12 教員と事務職員の相互理解と信頼関係のもとで、教育活動が展開されている。
		保護者・卒業生連携	13 育友会・同窓会の活動が盛んで、本校の教育方針に対する保護者や卒業生の理解と協力が進んでいる。
	教員研修	校内研修	14 校内研修会や効果的なOJT（On-the-Job Training）が実施され、教職員の資質向上につながっている。
		資質向上	15 研究授業、相互授業参観、模試・考査分析会、外部研修会への参加等によって、教員の資質向上が図られている。
	危機管理	役割分担	16 事故・災害等、非常事態に対処する際の役割分担が明確にされている。
		講習・訓練	17 健康・安全についての講習、防災訓練等を通じて、生徒・教職員・保護者の防災・安全意識が高められている。
		パンデミック対策	18 日常の感染予防対策を徹底しながら教育活動が行われ、必要に応じて遠隔による授業・行事が実施されている。
		個人情報	19 個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。
設備施設	施設管理	20 施設管理について、日常的に点検・補修が行われ、常に適正に管理されている。	
教育活動	生徒指導	学校生活	21 生徒は学校生活を楽しんでいる。
		基本的な生活習慣	22 時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・整理整頓・清掃など、生徒の基本的な生活習慣の確立のための指導が行われている。
		面談	23 面談を通して個々の生徒に寄り添い、生徒と教員の信頼関係のもとに課題が共有され、問題があれば迅速に報告されている。
		組織的対応	24 問題行動の防止に向け早期指導を行うとともに、生徒指導に組織的に対応する体制がある。
	進路指導	意識の向上	25 生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き出し、個性と学年に応じた進路指導・キャリア教育が実施されている。
		情報の活用	26 生徒・保護者への説明会、外部講師による講演、大学との交流など、さまざまな進路行事を通して情報提供が行われている。
		個別指導	27 生徒の学習到達度を正確に把握し、模試・考査などの客観分析とPDCAを行わせる進路指導が行われている。
	授業	質的向上	28 教員は、各教科のコース別到達目標に即して、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけている。
		きめ細やかな指導	29 生徒は学習への取り組みや到達度を振り返り、適切なアドバイスを得ている。また宿題・提出物等の管理も行き届いている。
		個別最適化	30 各自の目標や到達度に応じて自主的に適切な課題を選んで取り組むという、個別最適化学習の体制が整っている。
		探究活動	31 探究活動が生徒の興味関心を喚起し、主体的対話的な深い学びが成立している。
		グローバル教育	32 グローバル化の時代に対応した本校ならではの教育活動が実施されている。
		人権教育	33 生徒の人格が尊重され、平和を希求し人権侵害や差別に立ち向かう態度を育む実践が行われている。
		SDGsと社会貢献	34 SDGsを念頭におき、社会貢献や環境保全活動とともに、日々のごみ分別・資源回収などが実践されている。
	情報教育	情報モラル	35 情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での教育が十分に行われている。
	その他	カウンセリング体制	36 不登校の生徒や心的問題を抱える生徒に、カウンセラーの支援体制がある。
		クラブ活動	37 クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるような体制が整えられている。
		生徒会活動	38 生徒会活動が生徒主体で活発に行われ、社会に積極的に参画する意欲が育まれている。
		読書教育	39 図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ビブリオバトルなど、読書を促すための行事やしゅみがある。
学校行事		40 それぞれの学校行事が年間指導計画の中に位置づけられ、生徒が積極的に参加できるように工夫されている。	